



2010年5月11日

各位

Medicinova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号: 4875 大証ヘラクレス
問合わせ先: 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号: 03-3519-5010
E-mail: info@medicinova.com

融資契約締結のお知らせ

2010年5月11日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) (以下「当社」といいます) は、本日、住友商事株式会社の子会社である Oxford Finance Corporation (*1) (以下、「Oxford」といいます) との間で、当社が 1,500 万米ドルの融資を受ける融資契約を締結いたしましたことを下記のとおりご報告いたします。さらに、本融資契約に伴い、当社は Oxford に対し、当社普通株式 198,020 株 (発行済株式数の 1.6%相当) の購入を可能とするワラント (新株予約権) を発行いたしましたので、あわせてお知らせいたします (*2)。

当社は本融資契約の内容を報告書 (Form 8-K) として米国証券取引委員会 (SEC) に提出する予定です。また、当社英文ウェブサイト (<http://www.medicinova.com/>) でも閲覧可能となる予定です。

記

1. 借入金額
1,500 万米ドル

2. 借入期間

2010年5月11日～2013年8月1日

但し、返済にあたり、2011年1月31日までは利息のみを返済し、それ以降の30ヶ月には、元本の均等割及び利息を返済するものとします。

3. ワラント (新株予約権) の詳細

i) 発行日及び発行数

2010年5月11日 (米国太平洋標準時間) 198,020 個

ii) 目的たる株式の種類及び数

当社普通株式 198,020 株 (ワラント (新株予約権) 1 個あたりの目的たる株式の数 1 株)

iii) 行使に際して払い込みをなすべき金額

1 個 (株式 1 株) あたり 6.06 米ドル

[算定基準]

ワラント (新株予約権) の行使に際して払い込みをすべき金額は、2010 年 5 月 10 日 NASDAQ グローバル市場における当社普通株式の終値である 6.06 米ドルとしました。

iv) ワラント (新株予約権) の行使により発行または移転される当社普通株式の総額及び当該金額中の資本組入れ額

1,200,000.00 米ドル

v) 行使期間

発行日から 7 年間

当社は、今回の融資で調達した資金を、MN-221 の臨床開発の継続に必要な運転資本として使用する予定です。当社は先日、MN-221 について、COPD (慢性閉塞性肺疾患) に対する適応に関して、中等度から重度の COPD 患者を対象としたフェーズ 1b 臨床試験における良好な結果を発表しました。さらに、MN-221 の喘息の急性発作の適応とする臨床開発では、救急施設における有効性を評価する大規模フェーズ 2 臨床試験の患者登録が進行中です。

(*1) Oxford Finance Corporation は、住友商事株式会社の子会社であり、全世界のライフ・サイエンス企業 (公開、未公開を問わない) に融資を行っています。住友商事株式会社は、その傘下に住商ファーマインターナショナル株式会社を抱え、社内にもメディカルサイエンス部を有し、医薬・医療ビジネスをグローバルに展開しています。

なかでも Oxford は、20 年間にわたって、クライアントに柔軟性の高い融資を行い、その資産にてこ入れすることによってクライアントのエクイティの最大化を可能としてきました。Oxford による融資は、融資額 5 万米ドルから 3,000 万米ドルまでをそろえ、総額 10 億米ドル以上に達しております。Oxford の本社は、ヴァージニア州アレクサンドリアにあり、カリフォルニアとマサチューセッツにもオフィスを有しています。

詳細につきましては同社ホームページ (<http://www.oxfordfinance.com/>) をご覧ください。

なお、今回のメディスノバへの融資契約は、単なる融資案件ではなく、投資案件として Oxford のポートフォリオに計上されるとのコメントを Oxford の社長兼 CEO よりいただいております。

(*2) 利息を支払う通常のローンと併せてワラントを発行する融資契約形態は、"Venture debt" と呼ばれ、米国のベンチャー企業が資金調達を行なうための一般的な手法です。

以上

メディシノバ (MediciNova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD (慢性閉塞性肺疾患)、多発性硬化症を初めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁および血栓症など、多様な疾患の治療を目的とする臨床段階の化合物が揃っております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素および当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまります。当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。
